



## 振り返ってわかる私の成長

2024

今回の特集では、くろらん相談員と現役大学生のタピオカさんとの対談をお届けします。



Q 小学校から中学校に上がったことで変わったことを教えてください

A 部活が始まったことが大きな変化です。

小学生までは近所のお兄さん、お姉さんとして気楽な付き合いだったのが、中学校に上がるとそれが上下関係に変化していきました。また、3つの小学校が集まった中学校だったので、自分に合う子合わない子がいることが、より分かりました。言葉も語彙力が増えるので口げんかも激しくなり円滑に友人関係を進めることの難しさを感じました。

学習面では小学生は周りの子と比べる機会がなかったけどテストで順位が出るのが大きな変化だと感じた。順位で自分の立ち位置が決まる気がしました。

友人関係も楽しかったけれど、勉強に対する価値観が異なり、受験の頃は遊びの誘いを断ることもありモヤモヤを感じるがありました。



Q 上下関係や友人関係の難しさの中で、自分が思っていた自分と相手からみられる自分にギャップを感じる。自分というものをより考える時期だったのかな。中学から高校はどうだった？

A 頑張って勉強して入った学校だったので、勉強についていくのが大変でした。

他の子は淡々とできているようで劣等感を感じることもありましたが、でも、知識量・語彙力・表現力が同じ子が集まるのでより話深い話ができ、友達とより分かり合えたと感じました。それと同時に、高校でも大人になる過程で相手に言って良い事と悪い事の狭間で傷つくこともあり、友人関係で悩むこともありました。





Q 似たような思考ができる仲間と出会えたことで、コミュニケーションがうまく進んで、より深い話ができるようになり、成長を実感することができたんだね。その後、進路が決まって大学生になったんだね。大学は地方から出てきた子もいるし、一浪二浪して入る子もいると思うんだけどその辺ではどうですか？

A **大学から上京したので、すごい自由を感じました。**

何にも縛られないで自分の意志でなんでもできる。高校までは地域や学校クラスといった小さなコミュニティの中、その中が人生のすべてでした。でも、大学では友達も作ろうと思えば人も年齢も性別もいろいろで自由に自分を表現できる。

今までは、小さな世界で悩んでいたことも、成長してコミュニティが広がることでみんな同じようなことで悩んでいたんだと気づくことができました。



Q 自分が自由な広い視野で見たことで気付いたこと小・中・高校生に伝えたいことは何ですか？

A **悩むことは悪い事ではない**

成長していく上で大切なものだから、そこで自分を否定しなくていい。悩んでいるときは凄くつらいけれど、世の中はもっと広い。自分に厳しい目を自分で向けなくても大丈夫だよ。と伝えたいです。



Q 5年後10年後どんな自分になっていきたいですか？

A **自分を好きでいたい**

私はわりとネガティブで心配性な面があるから、自分のことを認めてあげる、ほめてあげる。ちょっとした小さなことでも自分をほめてより“自分を好きでいたい”と思います。



また5年後10年後、自分がこうなっていると思いつくとともに振り返ってみたりもして、これからHAPPYな世界を歩いていってほしいと思っています。